

国際委員会からのお知らせ

「国際大会に参加される選手・役員に対するメディカルチェックの実施について」

平成31年3月9日に開催されたJPA理事会において、上記メディカルチェックの実施が可決されました。

趣旨としまして、国際大会に参加するに当たり、選手と役員の皆さんが健康で、安全にかつ安心して大会に参加していただくためのものです。

これまでは、メディカルチェックは「世界サブジュニア・ジュニアパワーリフティング選手権大会」において過去十数年に渡り実施してきました。その結果、健康上の不安を和らげ、または対策を取り、数々の困難を乗り越えながらこれまで無事にサブジュニア・ジュニア選手団の成功に寄与することができました。まさに今回、十数年の試行期間を経て、今後すべての国際大会、全カテゴリー（全部門）での実施となります。

メディカルチェック受診にあたり、遠征費に加えてのご負担になることは誠に恐縮ではございますが、皆様の深いご理解とご協力をいただきますよう心からお願い申し上げます。

詳細は下記の通りです。

1、メディカルチェックの実施大会は？

2019年6月開催の「2019年世界クラシックパワーリフティング選手権大会」から実施し、それ以降すべての国際大会・全カテゴリー（全部門）において実施。

2、対象者は？

日本選手団として、IPFへの初回エントリー（大会60日前）を候補選手としてエントリーされた選手と役員。（リザーブ選手は参加が決定次第受診）

3、受診方法は？

JPAから案内が届きますので、メディカルチェックの用紙を医院・病院にお持ちいただき提示し、メディカルチェックをご受診ください。受診後は、期限までに必ずご返送いただきます。

4、メディカルチェックの有効期限は？

年度内有効とします。（受診日から一年間有効ではありません。）

その年度内に、複数回の国際大会に参加される場合は、最初の国際大会時に提出いただければ有効とします。複数回の期間が短くても年度を超えると再度ご受診いただきます。ただし、体調の変化はいつ起きるか分かりません。ご自分で心配、または異常にお気づきの場合は、有効期間内であってもご自分のご意思でご受診いただきますようお願い申し上げます。

5、メディカルチェックの結果につきましては、国際大会参加の可否を知る目的以外には使用しません。